

研究機関：広島大学

研究課題名	日本語版 The Positive and Negative Affect Schedule (PANAS) を用いた睡眠が感情に与える影響の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座教授 塩見 利明
研究期間	2021年11月22日 倫理委員会承認後～ 2023年3月31日
対象者	2021年4月～2022年12月31日の間に、広島大学病院睡眠医療センターにおいて睡眠ポリグラフ検査を施行した患者さん
意義・目的	<p>ヒトの感情は大きく分けて、Positive感情とNegative感情の2大要素より構成されていますが、睡眠がこれらの感情に与える影響を調査します。</p> <p>睡眠の質や量が感情に与える影響を調査することにより、睡眠障害を治療することによる感情面での意義を明らかにし、治療により得られる良質な睡眠が他疾患の発症や進行の抑制につながる可能性を探ることに繋がります。</p>
方法	<p>終夜睡眠ポリグラフ検査を行う前後に、感情に関する質問票(PANAS)を実施し、調査結果を本研究で二次利用し、睡眠が感情に与える影響を統計学的に解析します。また診療録から年齢、性別、確定診断、既往歴、問診票、PSG&amp;MSLT検査結果を使用します。</p> <p>解析や発表の際には氏名や住所など、個人が特定できる情報は使用しません。</p>
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科睡眠医学講座 寄附講座教授 塩見 利明
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Tel:082-257-1922</p> <p>広島大学医系科学研究科睡眠医学講座 教授 塩見 利明</p>